

2023年7月20日

株式会社三菱 UFJ 銀行

### 「健康経営アライアンス」への参画について

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 <sup>ほんざわ じゅんいち</sup> 半沢 淳一、以下「当行」）は、2023年6月30日に設立された「健康経営®アライアンス」<sup>[1]</sup>（会長 <sup>やまだ よしひと</sup> 山田 義仁 オムロン株式会社取締役会長、以下「当アライアンス」）に参画いたしました。

当アライアンスは、「社員の健康を通じた日本企業の活性化と健康保険組合（以下、健保）の持続可能性の実現」というビジョンに共感する148の企業・団体（2023年6月30日時点）が活動する組織です。当アライアンスでは、企業と健保が連携したコラボヘルス<sup>[2]</sup>の推進を通じて、データに基づいた課題特定と解決策の実行、各種施策の評価を行っていきます。また、データヘルス計画<sup>[3]</sup>に基づくPDCAサイクルの着実な遂行を通じて、健康経営の型づくりと成果創出のためのソリューションの共創及び産業界への実装を実現していきます。

当行では、パーパス「世界が進むチカラになる。」を実現し、持続的にお客さまや社会の発展を支えるためには、従業員とその家族が心身ともに健康であることが何よりも大切と考えています。今回、当アライアンスへの参画を通じて、従業員の心身の健康をより多面的に捉え、健康データの活用や健保とのコラボヘルスを推進していきます。従業員が生き活きと働くことを通して、高い付加価値を提供し、広く社会に貢献できるよう取り組んでまいります。

<sup>[1]</sup> 「健康経営®」は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

<sup>[2]</sup> 保険者と事業者が積極的に連携し、明確な役割分担と良好な職場環境のもと、加入者の予防・健康づくりを効率的・効果的に実行すること。

<sup>[3]</sup> 国の成長戦略として医療情報（レセプト）や健診結果の情報等のデータ分析に基づき、PDCAサイクルで効率的・効果的な保険事業を実施する取り組みで、2015年からすべての健保に実施が義務付けられています。